



2022年11月25日

各位

会社名 アゼアス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 齊藤文明
 (コード番号: 3161 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役常務執行役員 羽場恒彦
 (TEL. 03-3865-1311)

業績予想の修正に関するお知らせ

2022年6月10日に公表いたしました、2023年4月期第2四半期(累計)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2023年4月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年5月1日~2022年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,559	百万円 149	百万円 163	百万円 115	円 銭 20.39
今回発表予想(B)	4,079	105	116	96	17.17
増減額(B-A)	△479	△43	△47	△18	
増減率(%)	△10.5	△29.2	△29.0	△15.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年4月期第2四半期)	4,495	147	151	99	17.73

2023年4月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年5月1日~2022年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,617	百万円 132	百万円 145	百万円 102	円 銭 18.14
今回発表予想(B)	3,174	56	71	73	13.06
増減額(B-A)	△443	△76	△73	△28	
増減率(%)	△12.3	△57.5	△50.5	△28.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年4月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(注1) 当社は、2022年4月期第2四半期においては、個別の四半期財務諸表を開示していないため、2022年4月期第2四半期(累計)の個別実績の記載をしております。

修正の理由

(1) 第2四半期(累計)連結業績予想の修正理由

防護服・環境資機材事業におきましては、一般産業での継続的な需要や、家畜感染症対策の緊急的な需要に対応してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症対応後の反動減による個人用保護具の全体的な需給緩和の影響が続いており、同事業の業績は、予想を下回る水準で推移しております。今期より新たな事業セグメントとして独立したヘルスケア製品事業におきましては、中国のロックダウンに伴う資材調達の停滞を要因として、生産の一時的な中断を余儀なくされたほか、操業開始後、本格的な稼働に向けた取り組みを進めておりますが、生産の歩留まり率が改善の途上であることから、同事業の業績は、予想を下回る見込みです。

以上の結果、売上高は前回発表予想額より479百万円減少の4,079百万円、営業利益は43百万円減少の105百万円、経常利益は47百万円減少の116百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は18百万円減少の96百万円に各々修正いたします。

(2) 第2四半期(累計)個別業績予想の修正理由

(1) 第2四半期(累計)連結業績予想の修正理由と同様の理由で修正いたします。

売上高は前回発表予想額より443百万円減少の3,174百万円、営業利益は76百万円減少の56百万円、経常利益は73百万円減少の71百万円、四半期純利益は28百万円減少の73百万円に各々修正いたします。

(3) 通期の連結及び個別業績予想について

通期業績につきましては、足元において鳥インフルエンザの発生が続いており、家畜感染症の防疫作業における個人用保護具の利用が見込まれますが、現時点では、今後の需要の予測が極めて難しいため、連結及び個別とも、業績予想を変更しておりません。今後、通期の業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

(注2) 上記に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上